

官庁出願

特許願

請

昭和49年6月3日

特許庁長官 齊藤英雄 殿

1. 発明の名称
多層回転円板式油回収機の油掻き取り用ワイパー

2. 発明者
住所 神奈川県川崎市多摩区百合ヶ丘3丁目9番3号
氏名 榎田 靖夫
住所 東京都三鷹市新川6丁目38番24号105
氏名 竹沢 節夫
住所 東京都武蔵野市吉祥寺北町1丁目18番25号
氏名 上田 浩一

3. 出願人
住所 東京都三鷹市新川6丁目38番1号
電話 0422-45-5171(代表)
氏名 運輸省船舶技術研究所長 濱田 昇

4. 添付書類の目録

- 1. 明細書 1通
- 2. 図面 1通
- 3. 出願審査請求書 1通
- 4. 譲渡証書 1通



明 細 書

1. 発明の名称

多層回転円板式油回収機の油掻き取り用ワイパー

2. 特許請求の範囲

油回収機が多層円板等に付着した油を掻き取るための、薄いテフロンと薄い台形状の板バネで製作した、多層回転円板式油回収機の油掻き取り用ワイパー。

3. 発明の詳細な説明

水面上に流出した油を回収する方法として、多層回転円板式油回収機がある。この回転円板式油回収機とは、連続回転する円板の一部を浮遊油中に浸け、回転円板に付着した油を連続的に掻き取って油を回収する装置である。この装置は、多数の円板と油掻き取り用のワイパーを使用するために摩擦力による動力損失が大きい。この摩擦による動力損失を少なくするために発明したのが、このワイパーである。

この発明は、図1に示すように摩擦係数の小さ

① 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 50-154942

④公開日 昭50.(1975)12.13

②特願昭 49-61789

②出願日 昭49.(1974)6.3

審査請求 有 (全2頁)

庁内整理番号

622136

⑤日本分類

80 H0

⑤ Int. Cl?

B60S 1/32

い薄いテフロン①をネジ②と接着剤③で台形状の板バネ④に取り付け、回転円板上に付着した油を掻き取る摩擦力を小さくしたワイパーである。図3に示すように表層油⑥を円板⑤に付着させ、このワイパー⑦で油を掻き取り、とい⑧へ油を流し込むためのワイパーである。図2の⑨はワイパー取り付け用穴である。

このワイパーを使用すると合成ゴムを使用したワイパーに比べて摩擦による動力損失が非常に少なく、しかも油が漏れなく、且つ合成ゴムのごとく油により柔弱にならない。故に多層回転円板式油回収機等のように、数多くのワイパーを使用する機械には効果が大きい。

4. 図面の簡単な説明

図1、図2にこの発明による油掻き取り用ワイパーの一実施例を示す。図1はワイパーの側面図、図2は平面図である。図3はこのワイパーを多層回転円板式油回収機に使用する場合の一実施例である。

